

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-108	中学校	保健体育	保健体育	第1学年～第3学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
224 学研	保体 704	中学保健体育		

1 編修の基本方針

生きる力，自ら学び，自ら考える力を育てる

中学生の健康・安全を巡っては、数多くの深刻な問題が指摘されています。また、中学生がこれから生きていく社会は、厳しい挑戦の時代と予想されています。その社会も、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新などにより、予測困難な時代を迎えています。このような状況において、「生きる力」や「自ら学び，自ら考える力」は重要さを増しています。

保健体育においては、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するために、運動・スポーツや健康・安全についての科学的認識と課題解決能力を身に付け、実生活の中で応用し、主体的に行動できるようになることが求められます。

体育分野では、運動・スポーツの意義や効果，原則などを理解するとともに、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を身に付けることが求められます。保健分野では、健康・安全についての生活や行動の仕方を科学的に理解するとともに、生活において健康・安全の課題に直面した場合に、科学的思考と正しい判断の下に意思決定や行動選択をし、他者に伝えるための基礎となる資質や能力を身に付けることが求められます。

このような資質や能力を育てられるようにすることを目指して編集しました。また、教科書の記述，学習内容の選択などにおいては、ヘルспロモーション，多様性の尊重，共生の視点を基本に置いています。



3つの編集方針

1 運動・スポーツのよさや大切さ，よりよい生活との関係について考えることができる教科書

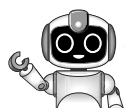
運動・スポーツの意義や効果，原則の理解を基に，健康や共生の視点を結び付けて，運動・スポーツとよりよい生活との関係を考える学習活動を基本とする。

2 健康とはどんなことか，日々の生活が健康とどう関係しているかについて考えることができる教科書

ヘルспロモーション，積極的な健康観，共生の視点を基本とし，身の回りの事象や情報と運動，健康や安全などを結び付けて考える学習活動を基本とする。

3 保健体育科の目標の実現と，資質・能力の育成のために，課題解決的な学習から実践に結び付けることができる教科書

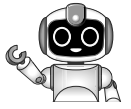
体育分野，保健分野の学習を通して身に付けた知識や技能，思考力・判断力・表現力などを基に，課題を発見し，その解決に向けた学習活動を基本とする。また，それらを実生活に生かし，新たな時代を切り開こうとする態度を育成する。



運動・スポーツ，健康・安全について，想像し，創造することができるようになることを目指しています。

◀共に学習を進めるキャラクター「ウィズ」

1 運動・スポーツのよさや大切さ、よりよい生活との関係について考えることができる教科書



口絵で、スポーツのよさや大切さについて考えることができる

2019年のラグビーワールドカップと2020年のオリンピック・パラリンピックという大きなスポーツイベントを踏まえ、これからの時代のスポーツライフについて考えることができるようにしています。

▼口絵 1

さまざまな人とさまざまな関わり方、楽しみ方でスポーツに親しめることに気づくことができる

共生の視点を大切に、アダプテッド・スポーツやスポーツをつくる活動、いろいろな運動部活動の在り方、さまざまな違いを超える事例、科学技術とスポーツの関わりなど、文化としてのスポーツの広がりや未来を考えることができるようにしています。

▼ p.24

▶ p.143



▶ p.21

▶ 口絵 4

運動・スポーツと健康・安全との関連を重視し、よりよい生活につなげることができる

運動・スポーツの必要性や効果について、保健分野との関連を深めながら学習できるようにしています。

また、これからの時代に求められる能力を踏まえ、情報との関連についても取り上げています。

▼ p.78

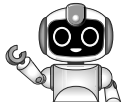
▼ 口絵 5



情報との関連の例

◀ p.79

2 健康とはどんなことか、日々の生活が健康とどう関係しているかについて考えることができる教科書



ヘルスプロモーション、共生の視点を基本として、自他の健康・安全について考えることができる

本文や資料では、積極的な健康観を大切に、一人一人の違いや多様性を重視した記述・構成にしています。

中学生に求められる資質・能力を踏まえ、自他の健康・安全について考える学習活動を基本としています。



▼ p.29

▼ p.43

▶ p.65

日々の生活行動を健康との関連から捉えることができる

日々の生活行動の振り返りや身近な事例から健康課題を見つけ、より健康であるための生活の仕方を考えていく学習活動を基本としています。



▼ p.36

▼ p.86

▼ p.155

身の回りの情報を基に、健康について思考・判断したり表現したりすることができる

各章のはじめに、「保健体育と情報」のコーナーを設けています。身の回りのさまざまな事象や情報が健康に関わっていることを認識するとともに、それらを健康の保持増進に生かす必要性や大切さに気づくことができるようにしています。

保健体育と情報

▼ p.27

▼ p.38

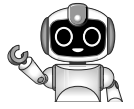
▼ p.171

▼ p.117

▼ p.151

▼ p.117

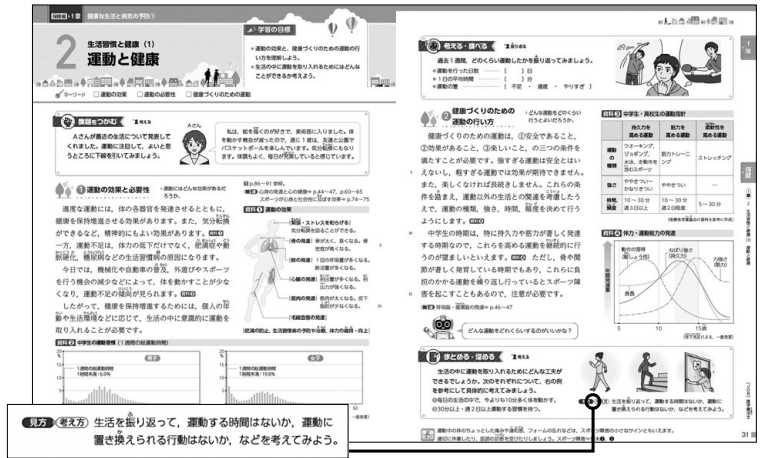
3 保健体育科の目標の実現と、資質・能力の育成のために、課題解決的な学習から実践に結び付けることができる教科書



課題を見つけ、その解決に向けて思考・判断したり、表現したりすることができる

比べる、確かめる、話し合う（表現する）などの活動を、学習内容に応じて適切に設定しており、主体的・対話的で深い学びによって、思考・判断・表現する能力を養うことができます。また、見方・考え方を働かせることを身に付けられるよう、随所に工夫を施しています。

▼ p.30~31



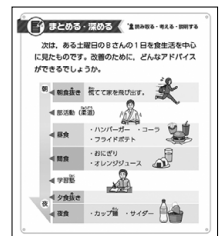
自他の健康課題・スポーツライフの把握と課題解決の道筋を実践に結び付けることができる

学習したことを活用して目標を立てたり、人に伝えたり、解決方法を話し合ったりする活動を、自他の健康の保持増進や豊かなスポーツライフの実現に向けて実践に結び付けられるようにしています。

▼ p.37



▶ p.33



▶ p.143



2 対照表

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
教科書全体	●編集の基本方針を基に、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるようにしています。(第1号)	教科書全体
口絵	●スポーツの魅力を知ることを通して、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことができるようにしています。(第1号)	見返し~p.1
	●スポーツ・健康・安全の分野で活躍する人物を取り上げ、個人の能力の発揮や、生活と職業との関係を身近にするとともに、勤労を重んずる態度を養うことができるようにしています。また、自他の敬愛と協力を重んずる態度や生命尊重、環境の保全の大切さにも気づくようにするとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようにしています。(第2号, 第3号, 第4号, 第5号)	p.2~3
	●生命尊重に関わる悩みへの相談に関する学習を通して、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、生命を尊ぶ態度を養うことができるようにしています。(第2号, 第3号)	p.4
	●スポーツや健康に取り入れられている科学技術について知ることを通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにしています。(第1号, 第3号)	p.5
	●食育に関する学習を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにするとともに、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うことができるようにしています。(第2号, 第5号)	p.6~7
	●日本各地のスポーツ・健康・安全に関する施設や史跡を取り上げ、幅広い知識と教養を身に付ける態度を養うことができるようにしています。(第1号)	p.8~9

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
1年	体育編 1章 スポーツの多様性	<ul style="list-style-type: none"> ●学習内容に関連した人物を紹介し、幅広い知識や教養を身に付ける態度を養うことができるようにしています。(第1号) ●スポーツの多様性について学ぶことを通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしています。また、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずることができるようにしています。(第2号, 第3号) 	p.15 p.16~25
	保健編 1章 健康な生活と病の予防①	<ul style="list-style-type: none"> ●学習内容に関連した人物を紹介し、幅広い知識や教養を身に付ける態度を養うことができるようにしています。(第1号) ●健康とは何か、生活習慣と健康との関係について学ぶことを通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしています。(第2号) 	p.27 p.28~41
	保健編 2章 心身の発達と心の健康	<ul style="list-style-type: none"> ●学習内容に関連した人物を紹介し、幅広い知識や教養を身に付ける態度を養うことができるようにしています。(第1号) ●心身の発達と心の健康について学ぶことを通して、かけがえのない自分に気づけるようにするとともに、生命を尊び、他者を尊重する態度を養うことができるようにしています。(第3号, 第4号) 	p.43 p.44~69
2年	体育編 2章 スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	<ul style="list-style-type: none"> ●学習内容に関連した人物を紹介し、幅広い知識や教養を身に付ける態度を養うことができるようにしています。(第1号) ●スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について学ぶことを通して、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことができるようにしています。(第1号) 	p.73 p.74~83
	保健編 3章 健康な生活と病気の予防②	<ul style="list-style-type: none"> ●学習内容に関連した人物を紹介し、幅広い知識や教養を身に付ける態度を養うことができるようにしています。(第1号) ●生活習慣病の予防、喫煙・飲酒・薬物乱用と健康について学ぶことを通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしています。また、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずることができるようにしています。(第2号, 第3号) 	p.85 p.86~105
	保健編 4章 傷害の防止	<ul style="list-style-type: none"> ●学習内容に関連した人物を紹介し、幅広い知識や教養を身に付ける態度を養うとともに、我が国と郷土を愛する心を育むことができるようにしています。(第1号, 第5号) ●傷害の防止について学ぶことを通して、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにしています。また、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるようにしています。(第3号, 第4号) 	p.107 p.108~133
3年	体育編 3章 文化としてのスポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ●学習内容に関連した人物を紹介し、幅広い知識や教養を身に付ける態度を養うとともに、我が国と郷土を愛する心を育むことができるようにしています。(第1号, 第5号) ●文化としてのスポーツについて学ぶことを通して、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようにしています。(第5号) 	p.137 p.138~149
	保健編 5章 健康な生活と病気の予防③	<ul style="list-style-type: none"> ●学習内容に関連した人物を紹介し、幅広い知識や教養を身に付ける態度を養うことができるようにしています。(第1号) ●感染症の予防、健康を守る社会の取り組み、保健・医療機関の利用や医薬品の使用についての学習を通して、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにしています。(第3号) 	p.151 p.152~167
	保健編 6章 健康と環境	<ul style="list-style-type: none"> ●学習内容に関連した人物を紹介し、幅広い知識や教養を身に付ける態度を養うとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようにしています。(第1号, 第5号) ●健康と環境について学ぶことを通して、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるようにしています。(第4号) 	p.169 p.170~187
保健体育の学習の終わりに		<ul style="list-style-type: none"> ●自他の敬愛と協力を重んずる態度や生命尊重、環境の保全の大切さにも気づくようにするとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようにしています。(第2号, 第3号, 第4号, 第5号) 	p.188~189
巻末資料		<ul style="list-style-type: none"> ●体の仕組みを知ることを通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるようにしています。(第1号) 	巻末①~⑤

3 上記の記事事項以外に特に意を用いた点や特色

- 大きな判型（A B判）を採用し、詳しく豊富な内容と視覚的にゆったりとした紙面を両立しています。
- 本文の記述に当たっては、できるだけ平易に、理解しやすい表現となるよう努めています。
- イラスト、写真の使用に当たっては、本文の記述との適切な関連はもとより、内容・掲載点数ともに学習上の効果に十分配慮しています。
- 全ての生徒が読みやすいように、書体、カラー、レイアウトなど、ユニバーサルデザインに配慮して作成しています。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
31-108	中学校	保健体育	保健体育	第1学年～第3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
224 学研	保体 704	中学保健体育		

1 編修上特に意を用いた点や特色

1 「主体的・対話的で深い学び」を実現する構成

●紙面構成自体が課題解決的な学習の進め方を示し、工夫された学習活動が主体的・対話的で深い学びを導きます。

課題をつかむ

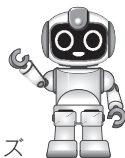
身の回りや普段の生活を手がかりとして、健康課題や学習課題に気づくことができます。

考える・調べる

考えたり、調べたり、話し合ったりしながら、課題解決に向かい、課題解決の仕方も身に付けることができます。

キャラクター

随所で、学習の要点や日常との関係などについて投げかけ、学習内容をより自分のこととして捉えられるようにしたり、主体的な学習を進めやすくしたりします。



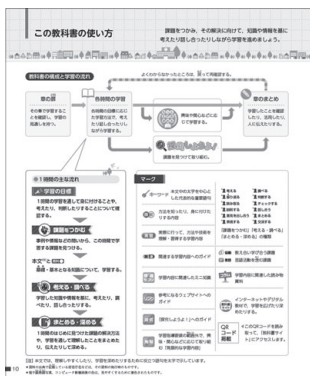
▶ウイズ

まとめる・深める

学習のまとめとして、目標を立てたり、人に伝えたり、さらに考えたりするなどして深め、実生活につなげることができます。

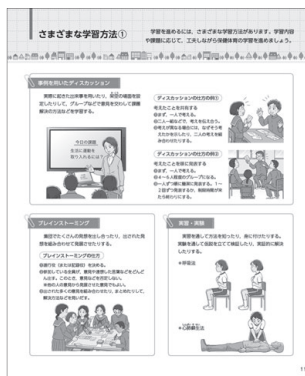
●本文 正確な記述の本文で、確かな知識を習得することができます。

●学習の進め方は、教科書の初めで説明しています。



▲ p.10

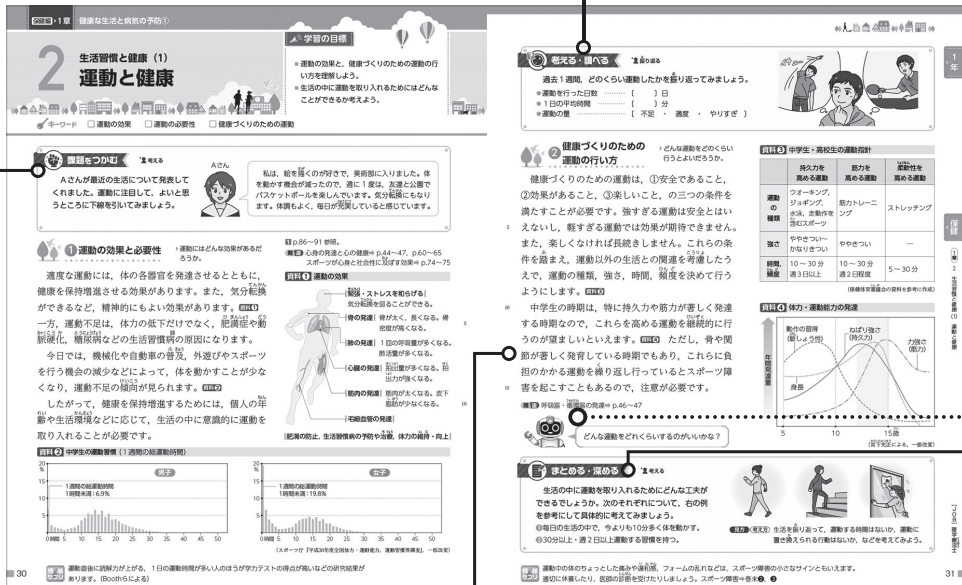
●さまざまな学習方法をわかりやすく示しています。



▲ p.11



▲ p.12



▲ p.30 ~ 31

2

保健体育の「見方・考え方」を身に付け、働かせられる構成

「見方・考え方」の提示

各時間にある作業課題の随所に、「見方・考え方」を示しています。この積み重ねにより、保健体育の「見方・考え方」を身に付け、働かせられるようにしています。



▼ p.32

見方・考え方 食事の量、バランスのよい食事、食事をする時間などに注目してみよう。

▶ p.97

「まとめる・深める」

次のようなことを書いてある友達にどう言いますか。知り合いから売られるアプリをもつた友達にどういったアプリを買ったんだって、一緒にどう？

友達の買ったアプリが面白いや、面白くないなは、どうすればいいかを考えてみよう。

実習・体験的な学習活動を重視

科学的な理解や技能の習得はもちろん、実感を伴って理解し、実生活との結び付きを感じられるように、実習や体験的な学習活動を重視し、随所に取り入れています。

▶ p.57

自分の気持ちや上手に伝える (コミュニケーション)

自分の気持ちを上手に伝える (コミュニケーション)

▼ p.64

実習 リラクゼーションの方法

リラクゼーションの方法

▼ p.125

実習の動画や関連サイトと連動させています。

「もっと広げる・深める」 「探究しようよ！」

生徒の探究心に答え、より深い学びに結び付けられるように、詳しい資料や探究的な学習活動例を掲載しています。



もっと広げる・深める
▶ p.118

自然災害を知る

2018 北海道胆振東部地震

2016 平成28(2016)年熊本地震

2011 東日本大震災

探究しようよ!
▶ p.102

探究しようよ!

多様な評価

章末で、習得した知識の確認や学習活動の振り返り、実生活へつなげる記述欄などを設けています。多様な評価や自己評価にも役立ちます。

▶ p.41

章のまとめ

振り返り

自分の学び

自分の学び

カリキュラム・マネジメントへの対応

保健体育の系統性、教科書内の関連、各教科との関連などを示しています。カリキュラム・マネジメントにも役立ちます。

▼ p.190

▼ p.30

【例】心身の発達と心の健康▶ p.44~47, p.60~65
スポーツが心身と社会性に及ぼす効果▶ p.74~75

▼ p.170

【例】理科2年：生命を維持する働き

キーワードで見る 保健体育の学習内容

保健体育	国語	算数・数学	理科	社会	総合	英語	道徳	芸術	体育
1. 生活習慣の形成 (1) 18	1. 国語 (1) 18	1. 算数 (1) 18	1. 理科 (1) 18	1. 社会 (1) 18	1. 総合 (1) 18	1. 英語 (1) 18	1. 道徳 (1) 18	1. 芸術 (1) 18	1. 体育 (1) 18
2. 生活習慣の形成 (2) 19	2. 国語 (2) 19	2. 算数 (2) 19	2. 理科 (2) 19	2. 社会 (2) 19	2. 総合 (2) 19	2. 英語 (2) 19	2. 道徳 (2) 19	2. 芸術 (2) 19	2. 体育 (2) 19
3. 生活習慣の形成 (3) 20	3. 国語 (3) 20	3. 算数 (3) 20	3. 理科 (3) 20	3. 社会 (3) 20	3. 総合 (3) 20	3. 英語 (3) 20	3. 道徳 (3) 20	3. 芸術 (3) 20	3. 体育 (3) 20

3 時代や社会の変化とさまざまな情報, 中学生の健康課題, 学習課題 に対応

多様性, 共生社会を基本に構成

これからの時代を生きる中学生には、多様性の尊重や共生の視点が重要になってきます。保健体育の学習全体を通じ、運動・スポーツ, 健康・安全について、さまざまな人がいることを基に考えられるようにしています。



▼口絵 4



▼ p.143



▼ p.148



キャリア教育につながる内容をさらに充実

口絵で、保健体育に関わって活躍している人を取り上げるとともに、各見開きに、内容に関連した「JOB」を掲載しています。また、各章の扉に、学習内容と関連の深い専門家からのメッセージを載せています。



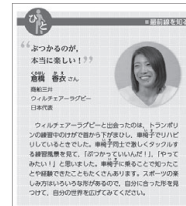
▼口絵 2



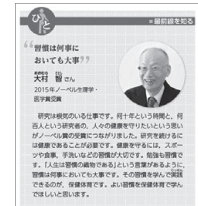
▼ p.45



▼ p.15



▼ p.151



がん教育の内容を充実

新たに加わった、がんについての内容に1時間を充てています。また、「がん教育」を重視して、探究的な内容を充実させています。

▼ p.90



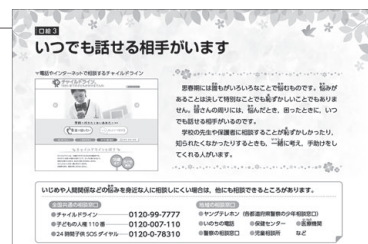
▼ p.103



さまざまな課題やトピックスの掲載

▼口絵 3

心の健康を重視しています。さまざまな相談窓口を示しています。この他にも、いじめについて取り上げています。



オリンピック・パラリンピックやラグビーワールドカップなどを学習に生かせるようにしています。

▶口絵 1



教科書の特色一覧

教育基本法との関連	<ul style="list-style-type: none"> ●教育基本法第2条に示された目標を達成するために、教科書の内容を適切に編成しています。
学校教育法との関連、特別支援教育・ユニバーサルデザインへの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●書体や色、表現・レイアウトについて、誰もが見やすく、わかりやすい内容となるように配慮しています。 ●「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律(通称:教科書バリアフリー法)」の趣旨に基づいて、拡大教科書を発行します。 ●学校教育法等の改正に沿い、デジタル教科書を発行します。
学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> ●【内容】学習指導要領に示されている方針、目標、内容、内容の取扱いに基づき、適切に内容を取り上げています。 ●【系統性】各章の扉において、小学校で学習したことと中学校で学習すること、さらに高校で学習することを見通すことができるようにし、小中連携につなげやすくしています。また、随所に「関連」を設け、 系統的に学習ができるように配慮しています。 ●【関連,カリキュラム・マネジメント】「関連」では、保健分野と体育分野のみならず、各教科との関連も示しています。 ●【指導内容の明確化】各章の扉で、学習内容の全体像を示しています。また、各項目初めの「学習の目標」「キーワード」で学習することと重要語句を示しています。さらに、本文中では、重要な語句を太字で示しています。 ●【実践的な理解】「課題をつかむ」「考える・調べる」で生活や経験を振り返ったり、実習などの実践的な学習を随所に取り入れれたりして、運動やスポーツ、健康や安全などについての内容を実践的に理解できるようにしています。 ●【課題解決】各項目で学習課題を明示し、「課題をつかむ」→「考える・調べる」→「まとめる・深める」の構成で、保健体育の「見方・考え方」を働かせ、課題解決に向けて考えたり話し合ったりしながら思考・判断するとともに、他者に伝える力(表現力)を養うことができるようにしています。 ●【主体的・対話的で深い学び】教え合い学び合う学習活動には、「協働」のマークを示し、主体的・対話的かつ協働的に活動する学習活動が生まれるようにしています。また、各項目の最後に「まとめる・深める」を設け、深い学びを実現できるようにしています。 ●【食育との関連】口絵で「中学校生活と食事」を取り上げている他、健康な生活と病気の予防では、健康と食事について言及し、食事の重要性が理解できるようにしています。 ●【道徳との関連】自分自身に関すること、人との関わりに関する事など、道徳の内容について保健体育の学習全体を通して関連を図ることができるようにしています。 ●【体力向上との関連】思春期の発育・発達や生活習慣病との関連、体力の必要性(災害から身を守る力)などを取り上げ、体力やよい運動習慣に気づかせるとともに、体力テストを活用した体力の高め方についても示しています。 ●【言語活動】話し合う、表現するなどの言語活動を随所に設けています。主に言語活動を含む学習活動には、「言語」のマークを示しています。 ●【キャリア教育】口絵でスポーツ・健康・安全の分野で活躍する人物を紹介したり、本文の見開きの内容に関係する職業を「JOB」を紹介したりするなどして、キャリアについて考えることができるようにしています。
創意・工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●体育編ならびに保健編の内容をそれぞれ学年別にまとめ、学習内容が明確になるようにしています。また各学年末には、まとめのページを設け、学習を振り返ることができるようにしています。 ●巻頭に「さまざまな学習方法」を設け、学習内容や課題に応じて、工夫しながら学習が進められるように、事例とともに学習方法を紹介しています。 ●教科書紙面に二次元コード(QRコード)を配置し、関連する動画などを見ることができるようにしています。より広く、深く学習を進めるために役立ちます。 ●学習内容の確認や追発問、説明をキャラクター「ウイズ」が語りかける形式によって随所に登場します。学習を広げたり、深めたりする手助けをします。 ●呼吸法や応急手当などの身に付けるべき技能は、生徒の発達段階を考慮するとともに、イラストや写真を多く掲載し、わかりやすく取り組みやすい内容とし、マークを付けています。 ●章末に設定した研究課題(「探究しようよ!」)で、課題の例や学習の仕方を示すことなどによって、課題解決的な学習が展開されるようにしています。 ●章末に自己評価欄を設けることで、生徒の内容理解に対する自己評価を助けるとともに、反復的・継続的な学習を行ったり、学習したことを日常生活に活用するための意欲を持ったりすることができるようにしています。 ●「キーワードで見る保健体育の学習内容」を設け、学習内容の振り返りとして活用できるようにするとともに、教科横断的に学習できるようにしています。カリキュラム・マネジメントにも役立ちます。
現代的な課題や情報、社会の変化への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●自然災害における安全の確保の内容を充実させ、過去の大きな災害から学ぶ教訓の形で展開しています。また、日頃の備えとともに、自然災害発生時には、正確な情報を得ることが重要であることを学べるようにしています。 ●いじめについて取り上げ、さまざまな相談窓口があることを示しています。 ●性情報などに関連し、SNSを例に情報モラルへの対応について考えられるようにしています。 ●ICT機器の活用などを例に、科学技術で変わるスポーツや健康の世界を紹介しています。 ●「スポーツとSDGs」や「保健体育の学習の終わりに」など、共生社会の実現に向けて考える内容を取り扱っています。
配列・分量 程度・資料	<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領で示された内容を基に、学年別で構成しています。 ●1単位時間見開き2ページを基本構成とし、見通しを持って学習できるように配慮しています。 ●生徒の発達段階を踏まえ、身近な問題、自他の問題として取り組むことができるようにしています。 ●資料は最新で信頼性のある適切なものを取り上げ、見やすく、活用しやすいように工夫しています。
表記・表現 印刷・製本	<ul style="list-style-type: none"> ●文章の表記・表現は、中学生に無理なく理解できる簡潔で平易なものとしています。 ●本文などで使用している書体や文字の大きさは、生徒の発達段階を考慮して選定しています。 ●環境に配慮して作成された用紙、植物油インキを使用し、環境への負荷が小さい方式で印刷しています。 ●製本はあじろ綴じで、特殊加工を施しており、3年間の使用に耐えられるように堅牢に仕上げています。

図書構成・内容		学習指導要領の内容		該当箇所	配当時数		
第1学年	体育編	1章 スポーツの多様性	体育分野 2-H	内容の取扱い(2)ク	p.14～25	小計3時間	体育 計3時間
		1 スポーツの始まりと発展	第1学年	(1)ア(ア),イ,ウ	p.16～17	1	
		2 スポーツへの多様な関わり方	及び	(1)ア(イ),イ,ウ	p.18～19	1	
		3 スポーツの多様な楽しみ方	第2学年	(1)ア(ウ),イ,ウ	p.20～21	1	
	保健編	1章 健康な生活と病気の予防①	保健分野2	内容の取扱い(1)～(3), (11)	p.26～41	小計5時間	保健 計16時間 保健で 1時間課題 学習を想定 している。
		1 健康の成り立ち		(1)ア(ア),イ	p.28～29	1	
		2 運動と健康		(1)ア(ア),イ	p.30～31	1	
		3 食生活と健康		(1)ア(イ),イ,内容の取扱い(3)	p.32～33	1	
		4 休養・睡眠と健康		(1)ア(イ),イ,内容の取扱い(3)	p.34～35	1	
		調和のとれた生活	(1)ア(イ),イ	p.36～37	1		
		2章 心身の発達と心の健康	保健分野2	内容の取扱い(1),(6)～(8),(11)	p.42～69	小計10時間	
		1 体の発育・発達		(2)ア(ア),イ,内容の取扱い(6)	p.44～45	1	
		2 呼吸器・循環器の発達		(2)ア(ア),イ,内容の取扱い(6)	p.46～47	1	
		3 生殖機能の成熟		(2)ア(イ),イ,内容の取扱い(7)	p.48～51	2	
		4 性とどう向き合うか		(2)ア(イ),イ,内容の取扱い(7)	p.52～53	1	
		5 心の発達(1) 知的機能と情意機能の発達		(2)ア(ウ),イ	p.54～55	1	
		6 心の発達(2) 社会性の発達		(2)ア(ウ),イ	p.56～57	1	
		7 自己形成		(2)ア(ウ),イ	p.58～59	1	
		8 欲求不満やストレスへの対処(実習を含む)	(2)ア(エ),イ,内容の取扱い(8)	p.60～64	2		
第2学年	体育編	2章 スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	体育分野 2-H	内容の取扱い(2)ク	p.72～83	小計3時間	体育 計3時間
		1 スポーツが心身と社会性に及ぼす効果	第1学年	(2)ア(ア),イ,ウ	p.74～75	1	
		2 スポーツの学び方	及び	(2)ア(イ),イ,ウ	p.76～77	1	
		3 スポーツの安全な行い方	第2学年	(2)ア(ウ),イ,ウ	p.78～79	1	
	保健編	3章 健康な生活と病気の予防②	保健分野2	内容の取扱い(1)～(4),(11)	p.84～105	小計7時間	保健 計16時間 保健で 1時間課題 学習を想定 している。
		1 生活習慣病とその予防		(1)ア(ウ),イ,内容の取扱い(3)	p.86～89	2	
		2 がんとその予防		(1)ア(ウ),イ,内容の取扱い(3)	p.90～91	1	
		3 喫煙と健康		(1)ア(エ),イ,内容の取扱い(4)	p.92～93	1	
		4 飲酒と健康		(1)ア(エ),イ,内容の取扱い(4)	p.94～95	1	
		5 薬物乱用と健康		(1)ア(エ),イ,内容の取扱い(4)	p.96～97	1	
		6 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ	(1)ア(エ),イ,内容の取扱い(4)	p.98～99	1		
		4章 傷害の防止	保健分野2	内容の取扱い(1),(9),(11)	p.106～129	小計8時間	
		1 傷害の原因と防止		(3)ア(ア),イ	p.108～109	1	
		2 交通事故の現状と原因		(3)ア(イ),イ	p.110～111	1	
		3 交通事故の防止		(3)ア(イ),イ	p.112～113	1	
		4 犯罪被害の防止		(3)ア(イ),イ	p.114～115	1	
		5 自然災害に備えて		(3)ア(ウ),イ	p.116～117	1	
		6 応急手当の意義と基本(実習を含む)	(3)ア(エ),イ,内容の取扱い(9)	p.122～129	3		
		第3学年	体育編	3章 文化としてのスポーツ	体育分野 2-H		
1 スポーツの文化的意義	第3学年			(1)ア(ア),イ,ウ	p.138～139	1	
2 国際的なスポーツ大会とその役割	(1)ア(イ),イ,ウ			p.140～141	1		
3 人々を結び付けるスポーツ	(1)ア(ウ),イ,ウ			p.142～143	1		
保健編	5章 健康な生活と病気の予防③		保健分野2	内容の取扱い(1),(2),(5),(11)	p.150～167	小計6時間	保健 計16時間 保健で 3時間課題 学習を想定 している。
	1 感染症とその予防			(1)ア(オ),イ,内容の取扱い(5)	p.152～155	2	
	2 性感染症とその予防/エイズ			(1)ア(オ),イ,内容の取扱い(5)	p.156～159	2	
	3 健康を守る社会の取り組み			(1)ア(カ),イ	p.160～161	1	
	4 医療機関の利用と医薬品の使用		(1)ア(カ),イ	p.162～163	1		
	6章 健康と環境		保健分野2	内容の取扱い(1),(10),(11)	p.168～187	小計7時間	
	1 環境の変化と適応能力			(4)ア(ア),イ	p.170～171	1	
	2 活動に適した環境			(4)ア(ア),イ	p.172～173	1	
	3 室内の空気の状態			(4)ア(イ),イ	p.174～175	1	
	4 水の役割と飲料水の確保			(4)ア(イ),イ	p.176～177	1	
	5 生活排水の処理			(4)ア(ウ),イ	p.178～179	1	
	6 ごみの処理			(4)ア(ウ),イ	p.180～181	1	
	7 環境の汚染と保全		(4)ア(ウ),イ	p.182～183	1		

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-108	中学校	保健体育	保健体育	第1学年～第3学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
224 学研	保体 704	中学保健体育		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
28	脚注 臓器提供について	1	保健分野 (1) 健康な生活と疾病の予防 ア (ア) 健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。また、疾病は、主体の要因と環境の要因が関わり合って発生すること。	0.25
38	アレルギー	1	保健分野 (1) 健康な生活と疾病の予防 ア (ア) 健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。また、疾病は、主体の要因と環境の要因が関わり合って発生すること。	1
39	脳死と臓器移植	1	保健分野 (1) 健康な生活と疾病の予防 ア (ア) 健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。また、疾病は、主体の要因と環境の要因が関わり合って発生すること。	0.5
40	コラム 十分な睡眠はよい 結果を生む	2	保健分野 (1) 健康な生活と疾病の予防 ア (ア) 健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。また、疾病は、主体の要因と環境の要因が関わり合って発生すること。	0.25
102	がんの治療	1	保健分野 (1) 健康な生活と疾病の予防 ア (ウ) 生活習慣病などは、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること。また、生活習慣病などの多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できること。	1
103	がんと共に生きる、 がん患者と共に生きる	2	保健分野 (1) 健康な生活と疾病の予防 ア (ウ) 生活習慣病などは、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること。また、生活習慣病などの多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できること。	1
104	ドーピング	1	保健分野 (1) 健康な生活と疾病の予防 ア (エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること。また、これらの行為には、個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それぞれの要因に適切に対処する必要があること。	0.5
104	インターネットと 健康	2	保健分野 (1) 健康な生活と疾病の予防 ア (ウ) 生活習慣病などは、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること。また、生活習慣病などの多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できること。	0.5

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
108	脚注 離岸流について	2	保健分野 (3) 傷害の防止 ア (ア) 交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などが関わって発生すること。	0.25
120	台風・大雨などによる水害・土砂災害	2	保健分野 (3) 傷害の防止 ア (ウ) 自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できること。	0.5
127	熱中症を疑ったときの対応	1	保健分野 (3) 傷害の防止 ア (エ) 応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができること。また、心肺蘇生法などを行うこと。	0.5
130	インターネットを通じた犯罪被害の防止	2	保健分野 (3) 傷害の防止 ア (イ) 交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できること。	0.5
131	津波	1	保健分野 (3) 傷害の防止 ア (ウ) 自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できること。	0.5
131	急な大雨や雷・竜巻から身を守るために	2	保健分野 (3) 傷害の防止 ア (ウ) 自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できること。	0.5
148	スポーツとSDGs	2	体育分野 ア 文化としてのスポーツの意義について理解すること。 (ウ) スポーツは、民族や国、人種や性、障害の違いなどを超えて人々を結び付けていること。	0.5
164	動物由来感染症 (ズーノーシス)	2	保健分野 (1) 健康な生活と疾病の予防 ア (オ) 感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。	0.5
165	ユニバーサルデザイン	2	保健分野 (1) 健康な生活と疾病の予防 ア (カ) 健康の保持増進や疾病予防のためには、個人や社会の取組が重要であり、保健・医療機関を有効に利用することが必要であること。また、医薬品は、正しく使用すること。	0.5
185	放射線と健康	2	保健分野 (4) 健康と環境 ア (ウ) 人間の生活によって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があること。	1
合計				10.25

(「類型」の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容